

次の世代も地域に関わることを できるような仕組みを

商業施設での
期日前投票所設置について

小黒 現在一つの大規模商業施設でのみ検討・準備中とのことだが、何故一カ所のみに限られているのか。

市民生活部長 これまでの市内の大学での実施に替えて、試験的に行うものであり、また周辺に期日前投票所がないといった理由で

落合町阿部の施設に御協力をお願いして取り組むものである。

小黒 将来的にはもう一つの大型商業施設においても同様の取り組みを期待する。

地域における役職の
在り方について

小黒 地域では愛育委員のほか

小黒 ゆかり 議員



▲動画視聴はこちらから

にも町内会長や栄養委員などの様々な役職があるが人材が不足している。この課題について今後見直しの予定があるのか。

市民生活部長 令和7年度から

多様な観点から解決策を検討する高梁市地域支援検討会議を設置したところである。

小黒 吉備中央町では、愛育委員と栄養委員を統合して健康づくり委員としている。地域委員制度の見直しは考えられないか。

市長 他市町の先進事例を参考にし、地域の声や地域支援検討会議での意見をしっかりと聴きながら見直し等を検討していきたい。

備北圏域唯一の定時制高校を 守るべきではないか

宇治高校・松山高校の
展望について

宮田 市は宇治高校や松山高校の将来をどのように考えているのか。

教育長 両校とも少人数だが、特色ある教育活動を通じて自立に向けた力をつけ、生徒を社会に送り出している。引き続き両校の特色ある教育活動の維持充実に努め今後も存続させたいと考えている。

県立高校の
支援体制について

宮田 県立高校には、どのような支援を行っているのか。
市長 各学校の教育活動の理解の促進とさらなる魅力化、魅力

宮田 好夫 議員



▲動画視聴はこちらから

発信の強化の支援を行っている。高校の存続は、高梁市の将来を左右する重要な課題であり、引き続き市を挙げての支援体制を継続していく。

各高等学校の
ホームページへ



市立松山高等学校 市立宇治高等学校
県立高梁高等学校 県立高梁城南高等学校 私立方谷學舎高等学校



今後とも注視!!ごみ処理問題

ごみ処理施設について

前野 岡山県は、県内市町村を広くブロック化した施設整備を求めている。現在の高梁クリーンセンターは平成30年7月豪雨災害の浸水被害により焼却炉の災害修繕は行っているが、本体の耐用年数から考えると、あと数年で更新時期を迎えると認識している。現状と今後の整備方針についてどのように考えているのか。

市民生活部長 岡山県が示す高梁ブロックは高梁市、吉備中央町、新見市、真庭市、新庄村の枠組みとなっているが、令和6年度の高梁ブロックごみ処理広域化対策協議会において、高梁市と新見市、吉備中央町の2市

1町の枠組みによる広域化の可能性について検討開始を承認されている。高梁クリーンセンターについて、河川改修に伴う移転も検討されていたが、現在地での長寿命化整備による延命化措置に取り組みながら、令和7年度中に2市1町の枠組みの中で、焼却施設の共同設置、もしくは単独設置、または外部搬出等の手法について検討協議することとしている。

前野 ごみ処理に係る施設整備については、市民生活に直結する事案であり、今後発生するであろうごみ処理の有料化や最終処分場の問題と合わせて、情報共有を行いながら検討していく課題と認識しているので、今後の情報提供等についてよろしくお願したい。

前野 洋行 議員



▲動画視聴はこちらから

市民の暮らしが一番

生活が苦しい市民について

藤岡 物価高騰の下で市民の暮らし、特に高齢者福祉、日々の生活の厳しさについて市長の認識を問う。

市長 制度の狭間に取り残される方がいないよう、今度ともきめ細やかな対応に努めていく。

水道料金について

藤岡 高齢化が進み単身世帯、少人数世帯が増加している中で実態に合わず、算定に不公平が生じてきている。また、入院や施設入所などで空き家になっているが、水道がつかっている居宅への対応はどうか。
土木部長 水道料金は通常利用

藤岡 善行 議員



▲動画視聴はこちらから

される基本水量を10トンを算定しており、財源が確保できれば利用者の負担軽減に取り組んでいく考えはある。

農業振興について

藤岡 農業は本市の基幹産業という基本位置付けは変わらないか。

副市長 本市の基幹産業として認識している。

藤岡 農業経営者の実態とその状況について問う。
産業経済部長 数字を見ると減少している。物価の上昇や高齢化による労働力、農業以外に主力が移った等、こういった部分で減少と推測している。